

MA-NANOH10シリーズ



MA-NANOH8
 203 WW JN000040
 MA-NANOH8RC
 203 WW JN000039

最初に
ご確認ください

●マウス本体	1台
●超小型レーザー	1台
●単四乾電池(テスト用)	2本
●取扱説明書	1部

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
 最新の情報は、弊社WEB(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
 本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

目次

- はじめに
- 健康に関する注意
- 電波障害自主規制について
- 対応機種・対応OS
- 接続手順
- 特長
- 各部の名称とはたらき
- マウスの準備(電池の入れ方、電源のON・OFF)
- マウスの接続(Windows用)
- マウスの接続(Mac OS X用)
- ID(チャンネル)の設定方法
- 「故障かな…」と思ったら
- オンライン製品サポート
- 保証規定

1.はじめに

この度は、超小型レーザーワイヤレス光学式マウス(以降「本製品」といいます)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
 本製品をご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

2.健康に関する注意

マウスやトラックボール、キーボードを長時間操作すると、手や腕や首、肩などに負担が掛かり痛みや痺れを感じることがあります。そのまま操作を繰り返していると、場合によっては深刻な障害を引き起こす恐れがあります。
 マウスやキーボードを操作中に身体に痛みや痺れを感じたら、直ちに操作を中止し、場合によっては医師に相談してください。
 また日常のコンピュータ操作では定期的に休憩を取り、手や腕や首、肩など身体に負担が掛からないように心がけてください。

3.電波障害自主規制について

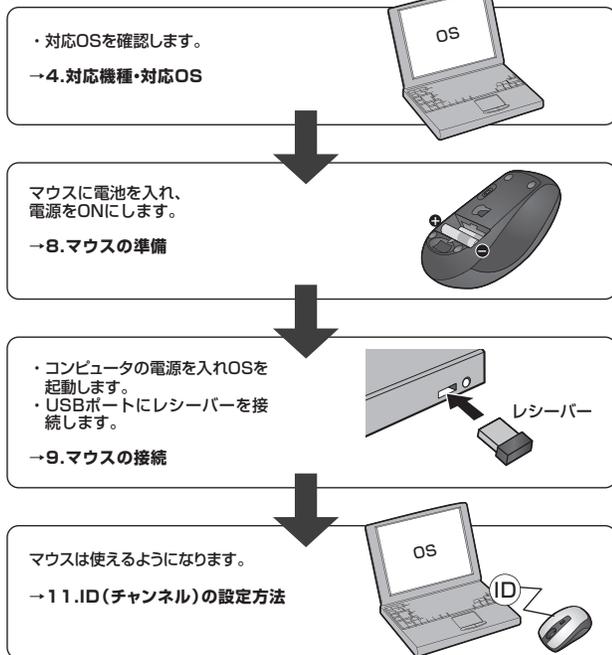
本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。
 本製品をラジオやテレビ受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。

4.対応機種・対応OS

- 対応機種
- Windows搭載パソコン、各社DOS/Vパソコン、NEC PC98-NXシリーズ
 - Apple Macシリーズ
 - ※USBポート(Aタイプコネクタ)を持つ機種
- 対応OS
- Windows 7・Vista・XP・2000・Me・98SE・98
 - Mac OS X(10.2以降)
 - ※Mac OS X(10.3以降)は、標準インストールされているSafari、Mail、テキストエディット及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションのみでスクロール可能です。またホイールボタン押し下げによる動作はサポートしません。
 - ※機種により対応できないものもあります。
 - ※この文章中に表記されるその他すべての製品名などは、それぞれのメーカーの登録商標、商標です。

5.接続手順

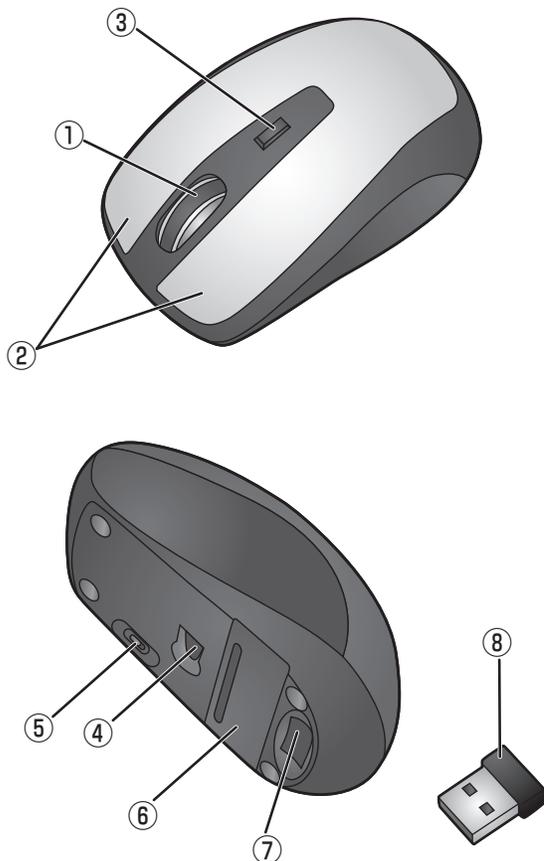
詳細は各項目をご覧ください。



6.特長

本製品は2.4GHz RF方式のワイヤレスマウスですので、入力操作の際ケーブルが邪魔になるといった煩わしさがなく、快適な環境でのコンピュータ操作が可能となります。
 本製品は14×19mmの超小型レーザーなので、ノートパソコンに装着したままの保管や持ち運びにも邪魔になりません。
 本製品は、使うシーンに合わせてカーソルスピードを1600カウント、800カウントに簡単切替えが可能です。
 ※ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

7.各部の名称とはたらき (Macでは一部の機能がご使用いただけません)



①ホイール(スクロール)ボタン …… インターネットやWindows上のドキュメント画面をスクロールさせる際、このホイールを前後に回転させて上下スクロールを可能にします。

■スクロールモード

インターネットやWindows上のドキュメント画面でスクロールモードを使用する際、このボタンをクリックしマウスを前後左右に少し動かすと自動的に画面がスクロールします。このスクロールを止めるには、ホイールボタンをもう一度押してください。

■ズーム

ズームはMicrosoft IntelliMouseの通常機能ですので、MS-OFFICE用のアプリケーションに対応しています。「ズーム」とはウィンドウ内の倍率を変えることです。「Ctrl」キーを押しながらホイールを回転させると、ズームが簡単に行えます。

●「Ctrl」キーを押しながらホイールをモニター方向に回転させると、倍率が上がります。

●「Ctrl」キーを押しながらホイールを手前方向に回転させると、倍率が下がります。

②左ボタン・右ボタン …… 左ボタンは通常クリック、ダブルクリックに使われます。また右ボタンはWindowsでのアプリケーションごとに設定されているマウスの動きも行いますし、またポップアップメニューの表示もすることができます。

③カウント切替えボタン …… カウント切替えボタンを押すと、分解能を1600→800カウントに切替えることができます。

④光学式センサー …… 光学センサーが動きを読み取ってくれるから、正確で自然な動きを実現します。

⑤電源スイッチ …… マウス本体の電源をON・OFFします。

⑥電池カバー …… このカバーを取外して、電池を入れます。

⑦レーザー収納スロット …… レシーバーを収納することができます。

⑧超小型レシーバー …… 14×19mmの超小型レシーバーなので、ノートパソコンに装着した際の出っ張りもわずか8mm。装着したままの保管や持ち運びにも邪魔になりません。

8. マウスの準備 (電池の入れ方、電源のON・OFF)

1. マウス裏面の電池カバーを取外します。
2. シートを下に引いたまま奥側に付属の単四乾電池をマウスに入れます。
※正しい極性で入れてください。



3. 続けて手前側に付属の単四乾電池をマウスに入れます。
※正しい極性で入れてください。
4. 電池カバーを取外したときと逆の手順で取付けます。



5. マウスの電源スイッチをONにすると、光学センサーが点灯します。

電源スイッチ
OFF ↔ ON



※マウスを動かしている際、カーソルの動きがスムーズでなくなったり光学センサーが点灯しなくなったら、電池を交換してください。

※電池交換の際には、新品の単四アルカリ乾電池をご利用ください。(付属の電池はテスト用ですので、電池寿命が短くなります。)

※異なったメーカーの電池を組合わせて使用しないでください。

※電池交換の際はマウスの電源をOFFの状態で行ってください。

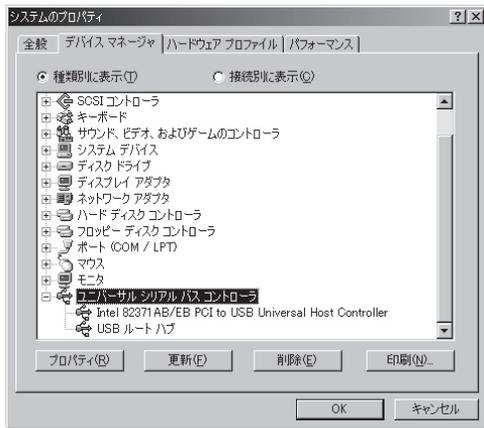
※空になった電池をマウス内に置いておくと液もれの原因になりますので、取出しておいてください。

9. マウスの接続 (Windows用)

■本製品をUSBポート接続する際の注意

本製品はWindowsにおいて自動認識され、使用可能となります。まず初めにUSBインターフェイスが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。

「スタート」→「設定 (S)」→「コントロールパネル (C)」→「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をチェックしてください。下の画面が表示されます。



これはUSBインターフェイスの正常な動作状況です。USBデバイスアイコンに「！」マークが表示されていたり、または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つからない場合、マザーボードのBIOSをアップグレードしたり、BIOS設定を確認してください。一部の機種ではデフォルトの状態ではUSBポートの使用が不可に設定されています。また「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なることがあります。インテル社以外の記述の際にもありますので、本体 (マザーボード) メーカーにサポートしてもらってください。

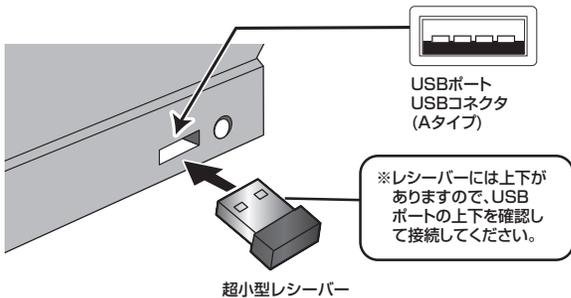
■BIOS上でUSBがdisableディセーブル(無効)になっている場合

●BIOS上のUSBをenableイネーブル(有効)にしてください。
通常BIOSの設定はコンピュータ起動時にF1かF2を押すものが多いですが詳細な設定については、コンピュータ本体の取扱説明書をご覧ください。

■レーザーを接続

※注意:マウス用レーザーを接続する前に他のアプリケーション(ウィルス検索ソフトなどの常駐ファイル)を終了させておくことをお薦めします。

- ①コンピュータの電源を入れ、Windowsを完全に起動します。
- ②レーザーをコンピュータのUSBポートに接続します。



- ③自動的にハードウェアの検知が始まり、デバイスドライバを更新するためのウィザードが起動します。

〈Windows 7の場合〉

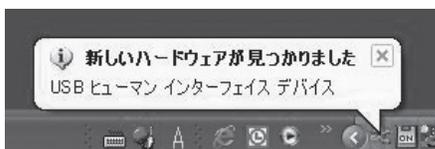
タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」
「USB入力デバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

〈Windows Vistaの場合〉

タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」
「USBヒューマンインターフェイスデバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

〈Windows XP・2000・Meの場合〉

タスクバーに「新しいハードウェアが見つかりました。」「使用できる準備ができました。」と表示されて、自動的にインストールが完了します。



9. マウスの接続 (Windows用) (続き)

〈Windows 98SE・98の場合〉

新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されます。

※Windows 98SEでは、下記の作業が発生しますので、手順に従って、インストール作業を行ってください。

- 新しいドライバを検索していただけます。
USBヒューマンインターフェイスデバイス
----- 次へ)



- 検索方法を選択してください。
●使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨) ----- 次へ)



- 新しいドライバはハードドライブのデータベースと、次の選択した場所から検索されます。チェックボックスにチェックマーク(☑)を入れます
----- 次へ)



もし、検索場所を聞いてきたら、検索場所の設定 (L)

C:\WINDOWS\INF ▼ ※

もしくはC:\WINDOWS\OPTIONS\CABS
※もし、上記の検索場所でドライバが見つからない場合は、CD-ROMドライブにWindows OSのCD-ROM (パソコン購入時に同梱)を挿入し、CD-ROMドライブ (C)にチェックを付けてください。

- 次のデバイス用のドライバファイルを検索します。
USBヒューマンインターフェイスデバイス ----- 次へ)



- USBヒューマンインターフェイスデバイス ----- 完了



※接続が完了したら、「11.ID設定方法」へ。

10. マウスの接続 (Mac OS X用)

Mac OS X (10.3以降)は、標準インストールされているSafari、Mail、テキストエディタ及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションのみでスクロール可能です。またホイールボタンをクリックすることによる動作はサポートしません。

- ①コンピュータの電源を入れ、Mac OS Xを完全に起動します。
- ②本製品をコンピュータのUSBポートに接続します。
- ③ハードウェアの検知が始まり、自動的にインストールが完了します。
- ④これでマウスをご使用いただけます。

11.ID(チャンネル)の設定方法

※重要(必ずお読みください)

レーザーの接続が完了したら、マウスを動かしてみてください。これでマウスは使えるようになります。ID(チャンネル)は電波状況に応じて自動的に設定されるAuto Link方式ですが、変更の際、ほんの少しマウスの動きがスムーズでない事があります。また、付属の電池はテスト用ですので電池寿命が短くなっています。ご購入後もなくして、マウスが動かなくなった場合は、すみやかに電池を交換してください。

12.「故障かな…」と思ったら

Q.マウス(マウスカーソル)が動かない。

- A. 1. マウスに電池が正しく挿入されているか確認してください。マウスの電源がOFFになっていないか確認してください。(「B.マウスの準備」参照)
2. レーザーが正しくUSBポートに接続されているか確認してください。(「9.マウスの接続の「レーザーを接続」」参照)
3. 付属の電池はテスト用です。電池が少なくなっているかもしれませんが、新しい電池に交換してください。(「B.マウスの準備」参照)

Q.マウスをしばらく操作しないと、マウスカーソルが動かなくなる。

- A. 本製品は、電池の消耗を抑えるため、しばらくマウス操作を行わないとスリープモードに入ります。マウスを復帰させるには、右ボタンや左ボタンを押してください。

Q.マウスカーソルやスクロールの動きがスムーズでない。

- A. 1. 光を反射する素材、ガラスなどの透明な素材の上や、規則正しいパターンの上でご使用の際は、トラッキング性能が低下する場合があります。
2. 金属面の上では、ワイヤレス信号が乱反射し、スムーズに動かない場合がありますので、厚みのある雑誌やマウスパッド等の上でご使用になってみてください。
3. ワイヤレスLANや携帯電話などのワイヤレス環境の中で、このマウスは無線通信の問題を解決するため、電波干渉が発生した際自動的にチャンネルが切替わるという機能が付いています。チャンネル変更の際、マウスカーソルは少しの間動きが鈍くなることがありますが、チャンネル変更後はスムーズな動きに戻ります。これはチャンネルが自動的に切替わる際の症状でマウスの不良ではありません。万が一Auto Linkでも電波状況が改善されない場合は、レーザーを挿し直してください。
4. レーザーをパソコンの背面など見えにくい位置に接続している場合は、別売りの延長ケーブル(KU-EN1など)を使って、レーザーを見える位置に出してください。

Q.Internet Explorerでスクロールがスムーズに動かない。

- A. Internet Explorerを起動し、「ツール」→「インターネットオプション」→「詳細設定」で「スムーズスクロールを使用する」のチェックをはずしてください。

Q.Windowsのディスプレイモードに出ているツールカラーを選択するとスクロールの動きがおかしくなった。

- A. 1. ハイカラーモードを選択してください。
2. ツールハイカラーでは、CPUからデータを伝えるのに時間がかかります。このため、スピードコントロールの動きが遅くなるのです。

13.オンライン製品サポート

お問合せは弊社WEBサイト(<http://www.sanwa.co.jp/>)より「サポート」→「お問い合わせ窓口一覧」→「製品について」→「マウス」のリンクをたどり、WEBでのお問い合わせ「入力フォームはこちら」に必要事項を記入して送信してください。

14.保証規定

- 保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
 - ①保証書をご提示いただけられない場合。
 - ②所定の項目をご記入いただけなかった場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - ③故障の原因が取扱以上の不注意による場合。
 - ④故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - ⑤天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
- お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負いません。
- 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。
- 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内においてのみ有効です。

最新の情報はWEBサイトで!! <http://www.sanwa.co.jp/>

- サポート情報
- よくある質問(Q&A)
- ドライバのダウンロード
- 各種対応表

など、最新情報を随時更新しています。

▼トップページから

▼サポートコーナーへ



ご質問、ご不明な点などがございましたら、ぜひ一度、弊社WEBサイトをご覧ください。

サンワサプライ株式会社

2011.5現在

岡山サプラインセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-0-10 TEL086-223-3111 FAX086-223-5123
東京サプラインセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 TEL03-5763-0011 FAX03-5763-0033
札幌営業所 / 〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目ストークマシソン札幌 TEL011-611-3450 FAX011-716-8990
仙台営業所 / 〒983-0851 仙台市宮城野区榴岡1-6-37室栄仙台ビル TEL022-257-4638 FAX022-257-4633
名古屋営業所 / 〒453-0015 名古屋市中村区椿町1-6-7カザヤマビル TEL052-453-2031 FAX052-453-2033
大阪営業所 / 〒532-0003 大阪市淀川区高島4-1-45新大阪八千代ビル TEL06-6395-5310 FAX06-6395-5315
福岡営業所 / 〒812-0012 福岡市博多区博多駅前中央街8-20第2博多相互ビル TEL092-471-6721 FAX092-471-8078